公益財団法人国際労務管理財団

会社説明

公益財団法人国際労務管理財団（IPM）は、1993年の設立以来、日本の優れた技術や知識の開発途上国への移転を目的として、外国人技能実習生や特定技能外国人などの外国人材受入れ事業を中核に展開してきた公益法人です。急速なグローバル化や少子高齢化に伴う労働力不足が社会課題となる中、我が国の産業界と海外の意欲ある若者とを結ぶ重要な架け橋として、多文化共生社会の実現に向けた様々な取り組みを推進しています。

当財団の最大の強みは、30年以上にわたり蓄積された豊富な実績とノウハウです。これまで数多くの受入企業様に対し、制度の適正な運用に向けた専門的なコンサルティングや、煩雑な法的・行政手続きのサポート、そして受入れ後の監査や指導をきめ細やかに実施してきました。技能実習生の選考から入国前の教育、日本での生活支援、そして帰国後のフォローアップに至るまで、一貫した支援体制を構築しており、企業様が安心して外国人材を活用できる環境を提供しています。

また、コンプライアンス（法令遵守）の徹底を最重要課題と位置づけ、関係法令の改正や最新の行政動向に迅速に対応し、受入企業様へ正確な情報提供を行っています。さらに、送出国の政府機関や教育機関とも強固な信頼関係を築いており、優秀な人材の確保と育成において国内外から高い評価を得ています。近年では、「特定技能」や新たな「育成就労」といった制度への対応も強化し、企業の多様な人材ニーズに柔軟に応える体制を整えています。

私たちは単なる労働力の確保ではなく、「人づくり」を通じた国際貢献を理念として掲げています。日本で技術や知識を学んだ実習生たちが、母国に帰国した後も産業発展のリーダーとして活躍できるようサポートすることは、当財団の大きな使命です。また、日本国内においても、異なる文化や価値観を持つ人々が共に働き、互いに尊重し合える職場環境の形成を支援することで、受入企業の活性化やダイバーシティ経営の推進に寄与しています。

これからも公益財団法人国際労務管理財団は、社会の変化を敏感に捉え、外国人材受入れのリーディングオーガナイゼーションとして、質の高いサービスの提供と国際社会への貢献に尽力してまいります。異文化交流の最前線で私たちと共に未来を築き、グローバルな視点で社会に価値を提供したいと考える、熱意ある人材を求めています。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
外国人技能実習生の受入れ事業、特定技能外国人の登録支援事業、育成就労に関わる支援、海外進出企業に係る効率的な労務管理等の調査研究およびサポート全般。

代表取締役
理事長 池田 英人

設立年
1993年03月

従業員数
51 - 100人

URL
https://www.ipm.or.jp/

オフィス情報

メインオフィス
〒1600022
東京都 新宿区 新宿1-26-6
新宿加藤ビル7階